

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年11月10日

【四半期会計期間】 第98期第2四半期
(自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)

【会社名】 フジ日本精糖株式会社

【英訳名】 Fuji Nihon Seito Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 櫻田 誠 司

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋兜町6番7号

【電話番号】 03-3667-7811 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部本部長 吉水 あつ子

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋兜町6番7号

【電話番号】 03-3667-7811 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部本部長 吉水 あつ子

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第97期 第2四半期 連結累計期間	第98期 第2四半期 連結累計期間	第97期
会計期間	自 2019年4月1日 至 2019年9月30日	自 2020年4月1日 至 2020年9月30日	自 2019年4月1日 至 2020年3月31日
売上高 (千円)	9,660,626	9,160,689	18,958,964
経常利益 (千円)	1,026,367	836,535	1,644,616
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	736,081	583,287	1,197,080
四半期包括利益 又は包括利益 (千円)	536,330	922,640	1,022,675
純資産額 (千円)	16,367,609	17,481,184	16,853,917
総資産額 (千円)	21,604,198	22,638,783	21,490,994
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	27.41	21.72	44.58
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	76.3	77.7	78.9
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	348,018	850,136	749,858
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	547,605	322,188	901,877
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	441,784	413,281	576,854
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	3,033,227	3,053,287	2,938,735

回次	第97期 第2四半期 連結会計期間	第98期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年7月1日 至 2019年9月30日	自 2020年7月1日 至 2020年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	15.73	11.30

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による社会・経済活動の急速な停滞の影響から非常に厳しい状況となりました。緊急事態宣言解除後は、感染防止策を講じながら社会経済活動が再開され、徐々に景気動向に持ち直しが見られるものの、いまだ不確実性が高く、収束時期も不透明で予断を許さない状況が続いております。

精糖業界においては、砂糖消費の減少傾向のなか、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で消費が落ち込み、厳しい販売環境が続いております。

この様な環境下、当社グループでは、品質管理の徹底を図り、顧客満足度を高めるため、精糖は製品の安定供給に取り組み、機能性素材は高付加価値提案型の販売活動に引き続き、取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高9,160百万円（前年同期比5.2%減）、営業利益698百万円（同20.1%減）、経常利益836百万円（同18.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は583百万円（同20.8%減）の減収減益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

精糖

精糖事業においては、新型コロナウイルス感染症拡大により、ゴールデンウィーク前の需要も落ち込み、いまだ回復には時間が掛かっているため、販売数量は前年同期を下回りました。利益面では、堅実な原料糖仕入れにより原料コストは抑えることができたものの、販売数量の減少をカバーするまでに至らず、若干ながら減益となりました。

以上の結果、精糖事業の業績は、売上高5,030百万円（前年同期比7.6%減）、営業利益859百万円（同0.5%減）の減収減益となりました。

機能性素材

機能性食品素材イヌリンについては、高付加価値提案型の販売により、海外において健康素材としての新規採用件数が増加し、前年同期比で増収となりました。連結子会社ユニテックフーズ㈱は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により主力製品の販売が伸び悩み、減収となりました。

以上の結果、機能性素材の業績は、売上高3,718百万円（前年同期比2.4%減）、営業利益130百万円（同36.8%減）の減収減益となりました。

不動産

不動産事業の業績は、売上高294百万円（前年同期比4.0%減）、営業利益195百万円（同23.2%減）と本社移転に伴う費用の増加により減収減益となりましたが、引続き安定収益確保に貢献いたしました。

その他食品

その他食品事業は、タイでの食品関連事業が中心であります。業績は売上高116百万円（前年同期比21.5%増）、営業損失8百万円（前年同期 営業損失31百万円）の増収増益となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5.3%増加し、22,638百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ4.2%増加し、9,881百万円となりました。これは主に原材料及び貯蔵品の増加等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ6.2%増加し、12,757百万円となりました。これは主に投資有価証券の増加等によるものであります。

負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ15.3%増加し、3,634百万円となりました。これは主に買掛金の増加、未払法人税等の増加等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ2.6%増加し、1,523百万円となりました。これは主に「その他」に含まれる繰延税金負債の増加等によるものであります。

純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ3.7%増加し、17,481百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ114百万円増加し、3,053百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、850百万円(前年同期比144.3%増)となりました。これは主として、仕入債務の増加額等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、322百万円(前年同期比41.2%減)となりました。これは主として、投資有価証券の取得による支出等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、413百万円(前年同期比6.5%減)となりました。これは主として、配当金の支払額等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業上及び財務上の対処すべき課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発費等に係る会計基準による研究開発活動の総額は、35百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社の研究開発活動についての重要な変更はありません。

(6) 従業員数

当第2四半期連結累計期間において、連結会社及び提出会社の従業員数に著しい増減はありません。

(7) 生産、受注及び販売の実績

当第2四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績に著しい変動はありません。

(8) 主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい異動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画についての著しい変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	110,000,000
計	110,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年11月10日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	29,748,200	29,748,200	東京証券取引所 市場第2部	単元株式数は100株であります。
計	29,748,200	29,748,200		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年9月30日		29,748,200		1,524,460		2,366,732

(5) 【大株主の状況】

2020年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 (自己株式を 除く。)の 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
双日株式会社	東京都千代田区内幸町2-1-1	8,153	30.36
豊田通商株式会社	愛知県名古屋市中村区名駅4-9-8	2,459	9.16
鈴与株式会社	静岡県静岡市清水区入船町11-1	1,902	7.09
和田製糖株式会社	東京都中央区新川2-9-1	1,226	4.57
株式会社静岡銀行 (常任代理人 日本マスタートラ スト信託銀行株式会社)	静岡県静岡市葵区呉服町1-10 (東京都港区浜松町2-11-3)	792	2.95
株式会社榎本武平商店	東京都江東区新大橋2-5-2	758	2.82
小倉運輸有限公司	神奈川県横浜市神奈川区菅田町2334-1	669	2.49
新潟県砂糖卸荷受商業協同組合	新潟県新潟市中央区南万代町3-37	600	2.23
株式会社サカタのタネ	神奈川県横浜市都筑区仲町台2-7-1	563	2.10
東京海上日動火災保険株式会社	東京都千代田区丸の内1-2-1	447	1.67
計		17,570	65.43

(注) 1 所有株式数の割合は自己株式2,896千株を控除して計算しております。

2 2020年10月14日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書において、和田製糖株式会社が2020年10月9日現在で以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、その大量保有報告書の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (千株)	株券等保有割合 (%)
和田製糖株式会社	東京都中央区新川2-9-1	2,455	8.25

3 2020年10月14日付で公衆の縦覧に供されている変更報告書において、豊田通商株式会社が2020年10月9日現在で以下の株式を所有している旨が記載されているものの、当社として当第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。

なお、その変更報告書の内容は以下のとおりであります。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (千株)	株券等保有割合 (%)
豊田通商株式会社	愛知県名古屋市中村区名駅4-9-8	1,229	4.13

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 自己保有株式 2,896,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 26,838,700	268,387	
単元未満株式	普通株式 13,500		
発行済株式総数	29,748,200		
総株主の議決権		268,387	

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が2,100株(議決権21個)含まれております。

【自己株式等】

2020年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) フジ日本精糖株式会社	中央区日本橋兜町6-7	2,896,000		2,896,000	9.74

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2020年7月1日から2020年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,638,735	2,753,287
受取手形及び売掛金	2,569,323	2,489,466
有価証券	300,000	300,000
商品及び製品	2,115,006	2,152,015
仕掛品	142,800	125,411
原材料及び貯蔵品	686,590	1,060,733
その他	1,029,209	1,002,767
貸倒引当金	2,406	2,050
流動資産合計	9,479,259	9,881,630
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	424,033	384,973
機械装置及び運搬具(純額)	120,163	137,573
土地	2,527,435	2,527,435
建設仮勘定	5,380	1,623
その他(純額)	74,088	92,242
有形固定資産合計	3,151,100	3,143,848
無形固定資産		
のれん	37,864	8,150
その他	129,230	116,657
無形固定資産合計	167,094	124,807
投資その他の資産		
投資有価証券	6,305,030	7,090,469
長期貸付金	341,736	341,736
関係会社長期貸付金	1,757,700	1,756,300
その他	313,502	324,401
貸倒引当金	24,430	24,410
投資その他の資産合計	8,693,538	9,488,496
固定資産合計	12,011,734	12,757,153
資産合計	21,490,994	22,638,783

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	977,866	1,341,518
短期借入金	1,315,989	1,242,973
未払法人税等	96,424	281,473
賞与引当金	116,663	114,515
その他	645,370	653,931
流動負債合計	3,152,314	3,634,411
固定負債		
長期借入金	294,859	259,859
退職給付に係る負債	53,268	41,020
資産除去債務	67,328	76,415
その他	1,069,305	1,145,891
固定負債合計	1,484,762	1,523,187
負債合計	4,637,076	5,157,599
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,049,343	2,049,343
利益剰余金	12,557,481	12,845,395
自己株式	717,161	717,161
株主資本合計	15,414,123	15,702,036
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,525,792	1,863,187
為替換算調整勘定	104,603	103,023
退職給付に係る調整累計額	80,165	75,162
その他の包括利益累計額合計	1,550,229	1,891,049
非支配株主持分	110,434	111,901
純資産合計	16,853,917	17,481,184
負債純資産合計	21,490,994	22,638,783

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	9,660,626	9,160,689
売上原価	6,905,721	6,630,401
売上総利益	2,754,904	2,530,288
販売費及び一般管理費	1,188,728	1,831,988
営業利益	874,176	698,300
営業外収益		
受取利息	15,765	15,792
受取配当金	40,001	44,099
為替差益	14,774	-
持分法による投資利益	81,985	78,166
その他	12,675	15,897
営業外収益合計	165,203	153,955
営業外費用		
支払利息	11,576	8,086
為替差損	-	7,620
その他	1,436	13
営業外費用合計	13,012	15,720
経常利益	1,026,367	836,535
特別利益		
投資有価証券売却益	12	-
特別利益合計	12	-
特別損失		
固定資産除却損	-	431
投資有価証券売却損	14,381	-
特別損失合計	14,381	431
税金等調整前四半期純利益	1,011,997	836,104
法人税、住民税及び事業税	262,447	273,370
法人税等調整額	17,947	19,077
法人税等合計	280,395	254,292
四半期純利益	731,602	581,811
非支配株主に帰属する四半期純損失()	4,478	1,475
親会社株主に帰属する四半期純利益	736,081	583,287

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
四半期純利益	731,602	581,811
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	179,582	337,395
為替換算調整勘定	18,280	1,570
退職給付に係る調整額	2,591	5,003
その他の包括利益合計	195,272	340,828
四半期包括利益	536,330	922,640
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	542,126	924,107
非支配株主に係る四半期包括利益	5,796	1,466

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,011,997	836,104
減価償却費	57,521	130,384
のれん償却額	53,994	29,713
賞与引当金の増減額(は減少)	3,506	2,135
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,009	375
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	11,307	5,045
受取利息及び受取配当金	55,767	59,891
支払利息	11,576	8,086
為替差損益(は益)	14,774	7,620
持分法による投資損益(は益)	81,985	78,166
投資有価証券売却損益(は益)	14,369	-
固定資産除却損	-	431
売上債権の増減額(は増加)	243,929	79,751
たな卸資産の増減額(は増加)	149,215	393,612
その他の流動資産の増減額(は増加)	20,079	4,674
仕入債務の増減額(は減少)	264,331	363,803
その他の流動負債の増減額(は減少)	61,743	332
その他	506	52,240
小計	772,352	868,769
利息及び配当金の受取額	72,414	85,368
利息の支払額	12,697	8,623
法人税等の支払額	484,050	95,377
営業活動によるキャッシュ・フロー	348,018	850,136
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	65,518	87,647
無形固定資産の取得による支出	24,738	5,903
投資有価証券の取得による支出	720	248,237
投資有価証券の売却及び償還による収入	74,971	-
長期貸付金の回収による収入	458,400	449,600
長期貸付けによる支出	990,000	430,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	547,605	322,188
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	-	28,560
長期借入れによる収入	3,001	-
長期借入金の返済による支出	139,031	136,436
リース債務の返済による支出	10,379	10,031
配当金の支払額	295,374	295,373
財務活動によるキャッシュ・フロー	441,784	413,281
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,126	115
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	640,245	114,551
現金及び現金同等物の期首残高	3,673,473	2,938,735
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 3,033,227	1 3,053,287

【注記事項】

(追加情報)

当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)「新型コロナウイルスの感染拡大の影響に関する会計上の見積り」に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

次の関係会社について、金融機関からの借入れに対し債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
太平洋製糖(株)	337,500千円	312,500千円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
販売奨励金	171,355千円	146,658千円
販売手数料	61,908千円	58,745千円
貸倒引当金繰入額	423千円	361千円
運賃	318,106千円	323,472千円
役員報酬	82,876千円	76,636千円
執行役員報酬	64,834千円	55,675千円
給料手当	353,697千円	353,267千円
減価償却費	41,174千円	67,173千円
賞与引当金繰入額	99,561千円	102,584千円
退職給付費用	18,274千円	15,669千円
租税公課	39,988千円	41,992千円
のれん償却額	53,994千円	29,713千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
現金及び預金	2,733,227千円	2,753,287千円
有価証券勘定	300,000千円	300,000千円
計	3,033,227千円	3,053,287千円
預入期間が3か月を超える定期預金		
現金及び現金同等物	3,033,227千円	3,053,287千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月20日 取締役会	普通株式	295,374	11.00	2019年3月31日	2019年6月4日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年5月20日 取締役会	普通株式	295,373	11.00	2020年3月31日	2020年6月8日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,445,548	3,812,096	307,173	95,808	9,660,626		9,660,626
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,526		2,922	10,477	16,927	16,927	
計	5,449,074	3,812,096	310,096	106,286	9,677,553	16,927	9,660,626
セグメント利益 又は損失()	863,533	207,120	254,165	31,658	1,293,161	418,985	874,176

(注) 1 セグメント利益の調整額 418,985千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,030,506	3,718,910	294,913	116,359	9,160,689		9,160,689
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,292		3,582	10,111	18,986	18,986	
計	5,035,798	3,718,910	298,496	126,470	9,179,676	18,986	9,160,689
セグメント利益 又は損失()	859,621	130,866	195,158	8,788	1,176,858	478,557	698,300

(注) 1 セグメント利益の調整額 478,557千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	27.41円	21.72円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	736,081	583,287
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益	736,081	583,287
普通株式の期中平均株式数(千株)	26,852	26,852

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年11月9日

フジ日本精糖株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

東京事務所

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 大 中 康 宏

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 箕 輪 恵 美 子

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフジ日本精糖株式会社の2020年4月1日から2021年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2020年7月1日から2020年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年4月1日から2020年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フジ日本精糖株式会社及び連結子会社の2020年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。
監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。
監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2 XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。